

令和5年度 学校自己評価システムシート (滑川町立月の輪小学校)

目指す学校像	子供が生き生きと活動し、保護者や地域から信頼される学校			達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
重点目標	1 確かな学力の確立	○日々の授業の充実	○学力と体力の向上		B	概ね達成 (6割以上)
	2 豊かな心と人権尊重の精神の育成	○人との関わりを豊かにし、思いやりの心を育む道德教育の推進			C	変化の兆し (4割以上)
	3 学校・家庭・地域との連携	○家庭・地域に見える教育の推進			D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 3 0 日 現 在)		実 施 日 令 和 6 年 1 月 3 0 日	
番	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 目 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	藏	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p>○授業規律は概ね身に付いており、落ち着いた授業態度である。</p> <p>○基礎・基本の定着は概ね身に付いている。</p> <p>▲下位層のボトムアップにつながる指導が必要である。</p> <p>○休み時間は、積極的に外に出て遊んでいる。</p> <p>○体力テストの結果がコロナ前の水準まで戻っている。</p> <p>▲男子児童に肥満傾向が多い。特に夏季休業明けに肥満が進む傾向があった。身体力テストでは、特に50m走で男女ともに課題が見られる。</p>	学力の向上 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、問題解決的な授業や話し合い活動を積極的に取り入れ、授業改善を図る。 各調査の分析結果を授業改善に生かし、指導法を工夫し各層の学力向上を図る。 I C T機器の積極的な活用により、学習に対する意欲と定着を図る。 外遊びの推奨と体育授業で、補強運動やダッシュ等の運動を毎時間取り入れる。 家庭と連携し、健康管理を充実させ健康で安全な学校生活が送れるようにする。 家庭学習の充実を図り、学習の仕方や宿題の取組方等を伝え、協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関するアンケートで「授業がわかる」「学習の仕方がわかる」の項目を95%以上にする。 基礎的基本的な事項の定着度を見る評価テストで平均90点以上を85%以上にする。 来年度の新体力テストの結果の総合評価(A+B+C)を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の「めあて・まとめ・振り返り」を必ず板書に入れ、課題とまとめがぶれずに、学習内容を児童が理解することと、多様な意見や考えに触れる授業を進めた。(アンケート90%超学年により差があり/評価テスト平均83%クラス差あり) 調査結果を基に学校課題に「書く」ことを設定し、各学年の指導内容に則し自分の考えを、文章に表すための手立てを身に付けさせる授業を進めた。 男女とも課題種目は共通しているが、学年や男女差も大きい。生活での運動習慣が必要。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 若手職員の育成に加え、授業の進め方を学ぶ機会の確保が必要である。教務部での授業の入り方を工夫し、学年・教科によって複数で授業を進めることを検討したい。 体力、健康での家庭との連携を進め、生活の中に運動を取り入れる方策を検討し、体力向上につなげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数など数字が関連する学習でゲーム的な要素を取り入れ、子供たちが楽しく学べるような方策を取り入れてみてはどうか。 若手教員が増加する中、時間の確保が難しい。ベテランの作成した教材やワークシートなどを効果的に活用してほしい。 夏休みが明けると、肥満度が進む特性があるようなので、家庭と連携した取り組みを継続してほしい。また、他校との比較などして対策を講じてはどうか。
2	<p>○全教育活動を通して道徳的な指導を実践することで道徳性は身に付いてきている。</p> <p>○登校班や縦割り活動では、高学年が低学年の面倒をよく見ている。</p> <p>○校内や全体で揃っての挨拶は、概ね良くできている。</p> <p>▲校内では挨拶ができて、地域の人への挨拶ができない児童が多い。</p> <p>▲年度当初低学年への複数対応が必要となる。</p> <p>▲児童の道徳性や道徳的实践には、個人差が見られる。また、様々な理由から登校を渋るケースが数件ある。</p>	豊かな心の育成 規律ある態度の育成(場に応じたあいさつ・返事)	<ul style="list-style-type: none"> 考え議論する「道徳」の授業を目指した授業改善を図り、児童の道徳性や道徳的実践力を高めるよう努める。 授業参観での道徳授業の公開と生活アンケートの学期毎に実施する。 縦割り活動の充実を図り、リーダーとしての自覚を持たせ育成する。 学級活動や道徳の授業で挨拶や返事の仕方などを具体的に指導する。 全ての教育活動に於いて、挨拶の実践に心がけ、指導・評価に努める。 家庭との連携を図り、学校、家庭それぞれの役割を確認し、足並みを揃えて児童の健やかな成長を育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートで豊かな心や規律ある態度に関する項目において、達成率を85%以上にする。 学校評価に関わるアンケート「挨拶」の項目で児童・保護者の達成率を85%以上にする。 児童の登校しぶり、不登校等の問題に組織的対応をして児童の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各月の講話朝会の内容を受け、各学年で取り組んだ。(アンケート：児童85%h保護者82%)交通指導員から褒められる機会が増えた。 行事を全体で行う機会が増え高学年のリーダーとしての意識が高まった。(豊かな心アンケート：児童保護者共に90%超) 低学年対応に学生ボランティアを活用し対応にあたった。 登校しぶり等については、専門機関等も含め家庭と連携しながら対応し成果につなげている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 大きな非行につながる事案はない。学年に応じ成長に沿った言動や責任感を育成していきたい。 挨拶は、高学年になると消極的になっている。高学年での取組を再度検討し、学校の良きリーダーを育てたい。 登校しぶり・不登校においては、家庭との連携・が最重要なので引き続き組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな心の育成」という項目であるが、何をもって豊かさとするか曖昧だと感じる。けんかをしないのが良いのか。怒りや悔しさなどの感情をもつことも、人として豊かな心と言えるのではないのか。全体で共通認識できる言葉が良いと思う。 児童数が多い中、問題行動や不登校等の数が少ないのは、先生たちの日頃からの取り組みの成果だと思うので、評議委員としては、達成度をAにしても良いのではないかとと思う。
3	<p>○感染を配慮しての人数制限をなくし保護者のみならず地域の方々に学校や行事の公開機会を増やす。</p> <p>○学校だより等各種便りで様子を伝えている。児童や保護者のコメント等を掲載する学年もある。</p> <p>○学校メールは全家庭が登録し、緊急時の連絡が迅速に伝えられている。</p> <p>▲地域間のつながりの希薄さを感じるケースがある。学校をもとにしたつながり作りを進めたい。</p>	開かれた学校づくり(家庭・地域に見える取組)	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観等の人数制限を緩和し学期1回実施すると共に、学校だより、学年だより等を定期的に発行し、学校の教育活動を積極的に発信していく。 学校行事を公開し児童の活動の様子を参観していただく。 PTA行事等を含め積極的に家庭との連携を図り、協力を構築する。 保護者の意見には傾聴し、迅速な対応、保護者や児童に寄り添った指導を行う。 学校HPの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関わるアンケートで積極的に「情報公開している」の項目の90%にする。 学校公開や授業参観等の機会を活用し、保護者間で意見交換やコミュニケーションを取る機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観、人数制限のない運動会や6年生保護者への音楽朝会公開、また、学校公開をPTA主催講演会と連動させた。町の行事にも児童が積極的に参加している。(アンケート90%超) 授業参観や懇談会に保護者参加型やグループ座談形式を取り入れ、保護者間交流を行った。 保護者からの連絡に対し、組織で迅速に対応した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や地域への参加行事が増えることで、児童の地域への愛着や他校との交流にもつなげていきたい。 保護者間のつながりや、自分の子供以外の子供と関わる機会を増やすことで、地域や保護者間のコミュニケーションの場としていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況下で激減していた行事や地域との交流が戻ってきて、様々な体験活動や地域との交流ができているようでうれしく思う。 学校を介して、保護者間や地域内での交流が広がるとよい。

○印：成果と思われること ▲印：課題と思われること